

地域未利用資源を活用したTMRの生産

(鹿児島県：有限会社 そおりサイクルセンター)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地：鹿児島県曽於郡大崎町
- 代表者：代表取締役 宮地 光弘
- TMR生産量：46トン（令和3年度）
- 規格外かんしょ及び食品加工品残渣等利用量：13.1トン(令和3年度)
- 飼料生産部門の雇用者数：2名（R4.3月時点）（パート含む）
- HP等：<https://www.gomizero.info/Organicfactory.html>



施設全体

<取組について>

○ 経緯

- 2004年、実証事業開始
- 2019年、未利用資源の飼料化計画策定
- 2019年、TMR生産開始

○ 概要

- 鹿児島県志布志市・大崎町を中心として、宮崎県南部を含めた南九州の食品製造副産物、圃場残さ、保存倉庫から排出される規格外かんしょをTMR飼料の原料として利用。地域内での賦存量調査及び飼料評価を実施するとともに、育成牛用の発酵TMRの調製技術を開発し、低コストで省力的なTMR生産モデルを構築。

○ 成果

- かんしょ等の生産農家及び加工食品製造業者が負担する、規格外かんしょ及び食品加工品残さ等の廃棄物処理費用の削減（年間17万5千円程度削減）
- かんしょ等生産農家の廃棄規格外作物6,220kgをTMR原料として利用。
- TMRの自給率（鹿児島県産原料利用率）は82%
（82%の内訳：TMR生産量のうち、畑の規格外芋及び加工用食品残渣13.1t、自給麦わら0.96t、イタリアンライグラス2.1t、県内産とうもろこしサイレージ21.6t）

未利用資源活用循環の図

